



「志」大野中だより

令和5年3月1日(水)
文責:校長 瀬口 勇治

3月となりました。3年生は、公立高校の入試・卒業式といよいよ中学校を巣立つ日が近づいてきています。1、2年生は、3月20日(月)の生徒総会、24日(金)の修了式が終われば、新しい学年へと進級します。この1ヶ月の過ごし方が次の新しいステップのスタートに大きく関わってきます。今、自分がやれること、やらなくてはならないことを精一杯取り組んで、有意義な1ヶ月にしましょう。

2月22日(水) 第4回 学校運営協議会の開催

2月22日(水)に今年度最後の学校運営協議会を開催しました。学校から今年度の重点目標に対する達成状況を、学力向上・地域連携・学校の状況等の面から、1年間を振り返って説明を行いました。委員の皆様から質疑を受けた上で討議しました。村田会長様をはじめ学識経験者である福岡教育大学教授伊藤先生、各区長様、副区長様、民生児童委員、保護者代表、関係小学校の先生方など12名の学校運営協議会の委員の皆様方には、1年間たいへんお世話になり有り難うございました。学校運営や地域活動の推進に対して様々な意見や助言を頂きながら、そして、毎回、大野中学校の生徒を褒めていただきました。本当にありがとうございました。



「3・11 東日本大震災」を教訓として

2011年3月11日午後2時46分。この日、この時間に起こった出来事…、東日本大震災です。もうすぐ、12年が経ちます。2分近く揺れが続いた大きな地震、そして津波が起こり、多くの方の命が失われました。日本が地震の多い地域にあることは変えることができない事実です。ですから、私たちは、よいことも失敗したことも含め、地震で経験したことや学んだことをこれからの生活に生かしていかななくてはなりません。

さて、岩手県釜石市には「釜石の奇跡」と呼ばれる出来事が語り継がれています。岩手県の釜石市では、約1,300人もの方が亡くなったり、行方がわからなくなったりしました。その中で釜石市にある鶴住居小学校と釜石東中学校にいた児童・生徒約570人は、全員無事に避難することができました。では、児童・生徒達は、どのようにして無事に避難することができたのでしょうか。

「2011年3月11日午後2時46分、釜石は大きな地震に見舞われ、その後に千年に一度と言われた大津波が町を飲み込んだ。当時の釜石東中学校の生徒たちは、部活動や卒業式の練習で忙しく活動していたが、津波の来襲を予想し、校舎にいた生徒も校庭に走り出て、点呼もとらずに、生徒自らが最初の避難場所へ走って逃げた。当初、鶴住居小学校の校舎3階に集まっていた小学生が、これを見て、日頃中学校と行っていた合同訓練を思い出し、自らの判断で外に避難し、中学生と合流した。最初の避難場所で、山側の崖の異変に気づき、さらに逃げなければならないと判断し、中学生は小学生の手をつなぎ、次の避難場所へ逃げた。しかし、津波が堤防を越えたという消防団員や地域の人々の声に反応し、子ども達はさらに高台までかけのぼった。このあと学校やまちは津波にのまれたが、子ども達は全員、無事に避難することができた。」この行動が、「釜石の奇跡」と呼ばれた出来事です。

しかし、子ども達は、「奇跡ではない。日頃学んだことを行っただけだ。」と話しています。「釜石の奇跡」は、子ども達が、この地域で日頃から行われていた防災教育で学んでいた行動を当たり前実践した結果が起こしたものです。現在は、奇跡ではなく「釜石の出来事」として語り継がれています。

大野中学校でも、避難訓練を年に2回実施しています。みなさんは、本当に自分事として考え、参加できていますか。この3・11を迎えるにあたって、防災についてもう一度考えてみましょう。中学生は、見守られるだけの存在ではなく、地域を守り、助けることを期待される存在だということを意識してください。

今後の主な行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
3月3日(金)	3年生教室ワックスかけ	3月10日(金)	第76回 卒業証書授与式
3月7日(火)	公立高校一般入試	3月14日(火)	専門委員会
3月8日(水)	職員研修(昼食後下校)	3月15日(水)	公立高校合格発表
3月9日(木)	3年生修了式、同窓会入会式	3月20日(月)	生徒総会

